










決 裁	議 長	局 長	次 長	係 長	係 員
				 	  

派遣承認要求書

令和4年6月23日

栗原市議会議長 殿

栗原市議会議員 菅原 麻紀 

下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。

記

日 時	令和4年7月5日 (火) 8時00分から 令和4年7月6日 (水) 17時15分まで
派 遣 先	能代エナジAMPARK 秋田県能代市大森 1-6 酸ヶ湯キャンプ場 青森県青森市新町 1-1-24
派遣目的	能代エナジAMPARK 栗原市に風力発電事業計画が計画されているとのこと。実際に稼働している場所でどのように活用されているのか視察調査する。 酸ヶ湯キャンプ場 栗駒地区にキャンプ場を作る計画があるが同じような場所でどのようなキャンプ場を作り経営しているのか視察調査する。
経 費	宿泊費 7,300円
派 遣 議員氏名	菅原 麻紀
議長依頼 文の要否	要 <input type="radio"/> 否 <input checked="" type="radio"/>
備 考	[参加者] 高橋渉、濁沼一孝、佐藤千昭、五十嵐勇、尾形勝通、 菊地広志



栗原市議会会派 視察行程表

日程：令和4年7月5日(火)～6日(水)

月日	行 程	発	着	摘 要
7/5 (水)	栗原市役所正面玄関集合・出発			レンタカー
	栗原市役所 ～ 道の駅 あきた港	8:00	11:15	道の駅 あきた港 秋田県秋田市土崎港西1丁目9-1 TEL:018-857-3381
	11:15～12:15 道の駅 あきた港 にて昼食			
	道の駅 あきた港 ～ 能代エナジウムパーク	12:15	13:15	能代エナジウムパーク 秋田県能代市大森1-6 TEL:0185-52-2955
	13:30～15:30 能代エナジウムパーク 行政視察			
7/6 (木)	能代エナジウムパーク ～ ホテルルートイン青森駅前	15:30	18:00	ホテルルートイン青森駅前 青森県青森市荒川南荒川山地内 TEL:017-731-3611
	ホテルルートイン青森駅前 ～ 酸ヶ湯キャンプ場	8:30	9:30	酸ヶ湯キャンプ場 青森県青森市新町1-1-24 TEL:017-731-3611
	10:00～12:00 酸ヶ湯キャンプ場 行政視察・昼食			
	酸ヶ湯キャンプ場 ～ 栗原市役所	13:00	16:00	

視察研修結果報告書

令和4年7月8日

栗原市議会議長 殿

会派の名称及び代表者氏名
又は会派に所属しない議員

菅原麻紀



視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

記

- 1 期間 令和4年7月5日(火)から7月6日(水)
- 2 視察研修先 ①秋田県能代市大森 能代エナジウムパーク
②青森県青森市新町 酸ヶ湯キャンプ場
- 3 目的 ①風力発電の現状を調査
②キャンプ場の経営、管理を調査
- 4 調査研究内容 ①秋田県では東北電力だけでなく民間が風力発電所を作っている場所もあり、県と一緒に事業を進めている。また日本海沿岸沿いにほとんど風力発電があり立地条件もいいようだ。風力発電に使う機器は船で運んでいるので沿岸だと交通の便が良い。民間への説明会も何回も開催し納得して進めたようで、建設終了後も音や、影についての調査を怠らずに事業をおこなっている。山間部に作る場合は羽が大きく、運搬に経費がかかる。道路を広げたりする費用は事業者持ちになる。新しくできる発電所にかかる費用は電気代に上乗せになってくる。家庭の中でも節電できるものはしていかないと『電気不足』という名の下に再生可能エネルギーをかたり、電気料金が知らず知らず









のうちに上がりそうだと感じた。

②酸ヶ湯キャンプ場は近くにある酸ヶ湯温泉と同じ会社の経営でおおもとは環境省管轄だった。少し車を走らせるとロープウェイや八甲田山への登山、後藤伍長の記念碑、国立公園などいろいろな目的別の観光スポットがあった。どれも規模が大きく整備されていた。キャンプ場でのごみの出し方は指定ごみ袋ではなく、分別さえしてもらえばキャンプ場内のゴミ置き場に捨てて良いとのこと。トイレも管理棟の中にあるトイレを使うことが出来若い人や子供連れのお客さんは安心と思う。酸ヶ湯キャンプ場くらい大きくなくても手をかけることと真摯な対応、笑顔のサービスでお客様を呼ぶことはできると思う。

5 参加議員

菅原麻紀



決 裁	議 長	局 長	次 長	係 長	係 員
				 	  

派遣承認要求書

令和4年6月28日

栗原市議会議長 殿

会派に所属しない議員

菅原 麻紀



下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。

記

日 時	令和 4年 7月 25日 (月) 7時 00分から 平成 4年 7月 27日 (水) 17時 00分まで
派 遣 先	宮崎県宮崎市 宮崎白浜オートキャンプ場 鹿児島県鹿児島市 公益社団法人 鹿児島県農業・農村振興協会 鹿児島県南九州市 株式会社 エヌチキン
派遣目的	宮崎市観光商工部観光戦略課企画係 宮崎白浜オートキャンプ場・運営、管理の取組みについて(現地調査) 公益社団法人 鹿児島県農業・農村振興協会 鹿児島農山漁村発イノベーションサポートセンターについて(机上調査) 株式会社 エヌチキン 6次産業化の取組みについて(現地調査)
経 費	104,534円 (アクセス鉄道・ガソリン代・高速代・お土産代は除く)
派 遣 議員氏名	菅原 麻紀
議長依頼 文の要否	<input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
備 考	【参加者】新清流 4名

※ その他資料があれば添付願います。



栗原市議会 視察行程表

日程：令和4年7月25日(月)～27日(水)

月日	行 程	発	着	摘 要	
7/25 (月)	くりこま高原駅 ～ 仙台駅	7:51	8:12		
	仙台駅 ～ 仙台空港	8:31	8:56		
	仙台空港 ～ 中部国際空港	10:00	11:20		
	中部国際空港 ～ 宮崎空港	12:00	13:25		
	宮崎空港 ～ 宮崎白浜オートキャンプ場	13:45	14:30	宮崎白浜オートキャンプ場 宮崎県宮崎市大字折生迫字上白浜6600-1 TEL:0985-65-2020	
	14:30～16:30		宮崎白浜オートキャンプ場 行政視察		
宮崎白浜オートキャンプ場 ～ 都城グリーンホテル	16:30	18:00	都城グリーンホテル 宮崎県都城市栄町27-2-1 TEL:0986-25-6111		
7/26 (火)	都城グリーンホテル ～ 鹿児島県農山漁村発イノベーションサポートセンター	8:00	10:00	鹿児島県農山漁村発イノベーションサポートセンター 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1 県庁11階 TEL:099-213-7223	
	10:00～12:00		鹿児島農山漁村発イノベーションサポートセンター 行政視察		
	鹿児島県農山漁村発イノベーションサポートセンター ～ 株式会社エヌチキン	12:00	14:00	株式会社エヌチキン 鹿児島県南九州市知覧町郡3669 TEL:0993-83-3725	
	14:00～16:00		株式会社エヌチキン 行政視察		
	株式会社エヌチキン ～ マリンパレスかごしま	16:00	17:00	マリンパレスかごしま 鹿児島県鹿児島市与次郎二丁目8-8 TEL:099-253-8822	
7/27 (水)	マリンパレスかごしま ～ 鹿児島空港	10:00	11:00		
	鹿児島空港 ～ 伊丹空港	11:50	13:00		
	伊丹空港 ～ 仙台空港	13:50	15:05		
	仙台空港 ～ 仙台駅	15:48	16:13		
	仙台駅 ～ くりこま高原駅	16:39	17:02		

視察研修結果報告書

令和 4 年 7 月 29 日

栗原市議会議長 殿

会派に所属しない議員

菅原 麻紀



視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

記

- 1 期間 令和 4 年 7 月 25 日(月)～令和 4 年 7 月 27 日(水)
- 2 視察研修先 宮崎県宮崎市 宮崎白浜オートキャンプ場
鹿児島県鹿児島市 公益社団法人 鹿児島県農業・農村振興協会
鹿児島県南九州市 株式会社 エヌチキン
- 3 目的 ①宮崎白浜オートキャンプ場
運営管理の取り組みについて(現地調査)
②公益社団法人 鹿児島県農業・農村振興協会
鹿児島農山村発イノベーションサポートセンターについて(机上調査)
③株式会社 エヌチキン
6次産業化の取り組みについて(現地調査)
- 4 調査研究内容 ①指定管理を受けている施設ではあるが、コンセッション方式をとっている。
3年から5年の間に利益が出るように民間と公的機関がいい距離感で連携してコミュニケーションをとっている。民間業者はキャンプ場の経営の経験はなかったが、地元でやってみたいという思いで、綿密な計画と熱い思いを持って指定管理業者に手を挙げた

とのことだった。また地元の商店さんに協力をもらい自分達が企画したスタンプラリーなどを行い地元利益還元もしている。キャンプ来場者の分析把握も都度確認しながら即、対応をしている。自発的に楽しみながら経営をしている感じを受けた。

②国からの方針が変わると対応しなければいけない。

今までは企業改善が先だったが、新事業は地域波及効果を見込んでの企業改善としている。

③大きな会社で鶏の飼育からではなく、加工販売が主であった。ただし責任を持って仕入れ、販売について徹底管理している。地元の食文化をしっかりと商品にして今時のおひとり様用にパックしていたりニーズに合わせて加工していた。

5 参加議員

菅原麻紀

